

平成19年3月23日

各 位

会 社 名 アサヒプリテック株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 寺山満春
(コード番号5855 東証第1部)
問合せ先 取締役管理統括本部長 東浦知哉
(TEL. 078 - 333 - 5601)

中期経営計画の修正および期末配当金に関する取締役決議のお知らせ

本日開催の当社取締役会において、平成18年3月27日に発表しました第4次中期経営計画の最終年度の経営目標を修正し、また第44期の期末配当金のお支払いについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の修正について

	2008年度の経営目標		(参考) 2007年度の目標
	当初設定	今回修正	
連結売上高	1,000億円	1,300億円	1,100億円
連結営業利益	75億円	120億円	100億円
連結営業利益率	7.5%	9.2%	9.1%
連結DOE (株主資本配当比率)	3.6%	5.0%	5.0%

なお、「2007年度の目標」は今回新規に設定・公表するものでありますが、2006年度の決算報告時にあらためて2007年度の業績予想を行います。また、上記のすべての経営目標は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断・作成されたものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる場合があります

(修正の理由)

当社グループは昨年4月、「チャレンジ1000 ～新たなるステージへ」をスローガンとして第4次中期経営計画をスタートさせ、初年度である当期(2007年3月期)には、連結売上高730億円、連結営業利益63億円を達成することを計画しておりました。

当期は、貴金属リサイクル事業において、エレクトロニクス分野や宝飾分野をはじめとする数多くの分野で貴金属の回収量を拡大し、加えて貴金属販売価格は当初想定した水準を上回って推移しました。また環境保全事業では、情報機器のリサイクルやその他の分野で関係会社と一体となった廃棄物関連サービスの実績を拡大することができました。

これらの成果をもとにすでに二度にわたり今期業績予想を上方修正いたしました。さらに2007年度以降の発展に向けた福岡インジウム工場の生産能力増強、埼玉工場の貴金属精製ラインの大規模更新等の基盤整備が順調に進んでおりますことから、当初の経営目標をより早期に達成することが可能であると判断し、このような情勢の変化を反映すべく、最終年度の経営目標の見直しを実施することといたしました。

引き続き、今次中期経営計画における経営方針・施策に沿って、新規事業領域の開拓、アジア地域を中心とする海外事業の拡大等に努め、新たに設定した経営目標の着実な達成に努めてまいります。

2. 第44期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の期末配当金について

当社定款37条第1項(剰余金の配当等)の規定に基づき、平成19年3月31日を基準日として、1株当たり25円の期末配当金を支払います。

	中間配当	期末配当	年間配当
当期	30円	25円 (従来予想20円)	55円
(参考)前期実績	16円	20円	36円

なお、当期の中間配当の基準日(平成18年9月30日)の後に1株を1.5株に分割しております。従って、当期の期末配当金1株当たり25円を分割実施前に置き換えれば、前期期末配当金の1株当たり20円に比して、実質1株当たり17.5円の増配(87.5%の増配)に相当いたします。

以上